特定非営利活動法人　沖縄教育カウンセラー協会（日本教育カウンセラー協会沖縄県支部）機関紙

教育カウンセラー沖縄

第５３号
2023年９月30日発行

〒900-0004　沖縄県那覇市銘苅2-3-1　なは市民協働プラザ2階201　　代表：下地　敏洋

総会を終えて「はい、パチリ!」

お疲れ様でした

8月11日（金・祝）に、総会が行われました。今年度は新役員の選出があり、

（新）代　表　：　琉球大学教育学研究科教授　下地敏洋（しもじとしひろ）氏

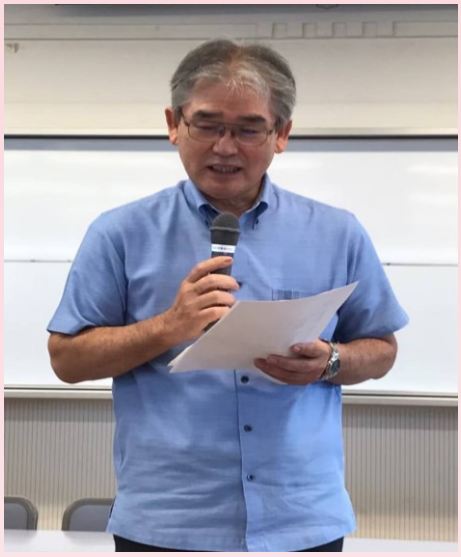
（継続）副代表　：　私立校スクールカウンセラー　照屋初美氏

（新）副代表　：　沖縄県スクールカウンセラー　神保しげみ氏

の3名が承認されました。

総会にご参加いただいた会員の皆様、委任状をご提出いただきました会員の皆様、本当にありがとうございました。

新代表　ご挨拶



NPO沖縄教育カウンセラー協会・代表を務めることになりました下地敏洋と申します。よろしくお願いいたします。

沖縄教育カウンセラー協会は、
NPO日本教育カウンセラー協会（https://www.jeca.gr.jp/
創始者は國分康孝）の支部組織です。

1999年から活動を始め、児童・生徒を育てる意欲に満ちた教職員・指導者・保護者をはじめ、さまざまな現場で支援に携わっていらっしゃる支援員・相談員の方々の教育カウンセリングの学びを支える取り組みをしております。

本部や支部の会員皆さま及び沖縄県や市町村の教育委員会や沖縄県立総合教育センター等関係各位のご理解とご協力により、今日まで活動できておりますことに感謝申し上げます。

昨今の課題として、学級・学校不適応、問題行動のエスカレート、指導に対する誤解や反発から教員とのトラブルに発展する問題に、発達障がいへの理解不足が見え隠れするのではと感じるところがあります。

学校においては、発達障がいの具体的で正確な基礎知識と対応スキルを身につけることが問題解決を長期化させず、学級や学校の安定につなげることを知っていただきたいと思っています。

また、会員の皆様とは教育カウンセラー協会が主催する、様々な観点からの講座内容が、学校における諸課題（いじめ、不登校、学級崩壊、問題行動等々）に対し改善の道筋をつけ解決に役立つことを　共有したいと思います。

今後は、本協会が、種々の問題が発生した場合の緊急対応、中長期的対応だけでなく、予防的・開発的・実践的な取り組みや教育相談、教師や子どもたちへの支援・援助に役立てることを、教育関係者をはじめ、家庭、地域やその他の組織団体に広くお知らせしたいと思っております。

コロナ禍の後でも、適宜オンライン講座や感染症対策を行いながら、これまでの組織活動が再開・維持できるよう体制を整えて参ります。

最後に、会員の皆様のご健勝と今後のご活躍に期待を申し上げ挨拶とさせていただきます。

表敬訪問

早速、新体制の下地代表・照屋副代表・神保副代表、そして顧問の川上啓一氏（前代表）と仲村將義氏（教育カウンセリング実践センター長）の5人で半領満教育長を表敬訪問いたしました。

二〇二三年八月十六日（水）

夏期講座～受講者の感想～

今年度は、久しぶりに3コマの夏期講座を開催することができました。
私ども沖縄教育カウンセラー協会では、今後も会員の皆様 のニーズに即した講座を提供して行きたいと考えております。講師の先生方、受講者の皆さま、ありがとうございました。

1：「学校ですぐ使えるカウンセリング技法」

仲村將義（北谷町教育委員会SSW・SC）
8月8日（火）　於：ハーモニーセンター（浦添市）

・たくさんの気づきがあり、学習できた。書き出してみるとたくさんあったので、枠をはみ出してしまった。振り返りながら、再度見直して文字起こししてみるとたくさんの学びがあった。怒りの感情が動くとき、罪悪感すらあったが、今回の研修で「感情に良し悪しはない」ことがわかり、自分自身を許して、相手の感情に寛大になれると持った。
・自分の欠点の良い面探しが難しい。リフレーミングをもっと学びたい。
・「子どもとのつながりができてこそ成り立つ支援だと改めて感じた。『仲よくするプログラム』や『勇気づけ』『解決志向の面談』等一つ一つのカリキュラムを粘り強く取り組むこと、経験を重ねることの大切さがわかった。
・課題のある子やクラスが多すぎて、支援が必要とわかっても多忙な現場では、タイムリーで効果のある支援会議が難しかった。研修で体験した小人数の『作業チーム』、30分程度で「どうするか」のアイデアを自由に出し合える『支援シート」を学校で実践していきたい。

2：「教育現場と医療、福祉関係者との連携」

宮城　聡（新垣病院　臨床心理士）
8月10日（木）　於：浦添市社会福祉センター

・連携について色々お話しいただきありがとうございました。何度かおっしゃっていた連携の意義「必ずしも解決が優先ではない。サポート体制作りが重要、協働を目指す」が心に残りました。1人1人の子にそれぞれの組織個人がよりそって、皆が幸せに暮らして行ければと願っています。私も頑張ります。お疲れ様でした。
・学校（教育）・医療・福祉のそれぞれがどのような立ち位置で、どのような役割をどう連携とって支援を組み立てていくのかを、あらためて考え、その根本（法規など）に戻って考える機会になりました。たくさんの学びをありがとうございました。
・今日のお話で特に良かった点は、医療機関との連携についてです。この点について特に考えていたのでとても参考になりました。「学校から提供できるといい情報」についてもわかりやすくまとめてあって、勉強になりました。他の先生方のお話も聞くことができて良かったです。宮城さん、本日は色々お話していただきありがとうございました。
・今日はグループワークを設定して頂き、現場の声を聴かせてもらってとても良い学びを得ました。講話の中で心に響いたのは「本人がどうしたいのかが福祉の基本」との言葉です。また、保護者からは診断を受けた方が負いかとの質問は受けることが多いですが、①目的を整理して ②病院に心理士の先生がいらっしゃると後日学校とのやり取りがスムーズになると思うことを伝えていきたいと思います。本日も良い学びの機会を頂き感謝します。
・他の学校でのケースや地域の様々なサービスを聞くことができてよかった。最後に、医療側と保護者からの要望が学校と相いれない場合、関係は悪化するばかりなので、お互いに言葉のキャッチボールをして、納得のいく方向にしていかなければと思う。

夏期講座～受講者の感想～

3：「解決志向アプローチ」

長田　清（長田クリニック　精神科医師）
8月11日（金・祝）　於：沖縄県総合福祉センター

・どうやって？の魔法の言葉、使います。Why ではなく How。相手はどうなりたいのか、どうしていきたいか、学校現場でも自分の子（家庭）でも取り入れます。
・相手の話に傾聴しながら相手の考えを引き出していくことが大事であること。また、実際に実習して自分の考えが整理されていくと感じました。そして次への行動が見えてきました。実践に生かしたいです。
・相手と関わる時は、できている部分、努力している過程にフォーカスして、相手の気づきや方向性を引き出していくことが大切なんだとわかりました。家庭、職場で練習してみたいです。
・子供達への声かけに困っていたので、Howの使い方をいっぱい勉強できて良かったです。他の皆さんにお話しする場面もあり、楽しかったです。長田先生の講座は、はじめて参加したのですが、とてもスッキリした気持ちになれました。学校で「解決志向アプローチ」という考え方、とても大切だと思いました。きょうはありがとうございました。

・子どもたちとの関わりの中でも「どうやって？」や「どうなりたいの？」は実践できると思いましたが、自分自身にも「どうやって？」「どうなりたいの？」を問いかけることで、自分の中の不安感や困り感を解消していけるのかな？　本日はありがとうございました。お話がとても聞きやすく楽しかったです。どうやって話術を高めたのですか？

実践発表交流会

8月11日（金・祝）に、「実践発表交流会」が行われ、5名の会員が発表いたしました。どの発表も聞きごたえのあるもので、実践に学び、明日へのヒントを得ることができました。フロアからの質問にも回答していただきました。発表者の先生方、ありがとうございました。川上啓一先生、仲村將義先生の講評もまた学びとなりました。

次回は「私も発表したい！」とお考えの会員の方は、事務局までご連絡ください。中級以上の資格取得に必要なポイントとしてカウントされます。また、ご自身の活動の振り返りとしてもとてもいい機会となりますよ。

発表者	発表題目
網敷　藤代 （小学校教諭）	「児童と児童・児童と教師の関係づくりの工夫」
嶺井　順子 （小学校教諭）	「不登校児童生徒の自己肯定感を高める工夫 ～感覚統合を取り入れた体験活動を通して～」
松前　英行 （専門学校校長）	「専門学校学生支援とクラスへのアプローチ」
田里　ふじ子 （県スクールカウンセラー）	「TRCと茶道の融合と実践」
名嘉山　卓 （特別支援学校寄宿舎指導員）	「教育カウンセリング実践報告」

勉強会・学習会

沖縄教育カウンセラー協会では、会員の皆さまを対象に、勉強会・学習会を開催しております。現在4つの学びの場があります。
以下に紹介します。
尚、新型コロナウイルス感染症の状況により変更となる場合があります。どうぞ、日程や会場等詳細につきましては、事前に連絡先又は事務局までお問い合わせください。
今後、勉強会への参加が資格取得につなげられるよう、研修時間を証明することを検討しております。会員の皆様の学びのサポートができるよう努めてまいります。

構成的グループエンカウンター学習会　といろの会

担当：照屋初美　鈴木美奈子

内容：構成的グループエンカウンターの理論と実践を学ぶ。学校で行うスペシフィックSGEの演習あり！

期日：奇数月　第2土曜日　9：00～12:00

今後の予定　12月9日、2024年1月13日

場所：ハーモニーセンター（浦添市）

連絡先・問い合わせ：照屋　初美　hatsumit0531@gmail.com

教育カウンセリング標準テキスト勉強会　てぃんがぁら

担当：濱川尚子　仲村芳美・本成悦子

内容：標準テキストの学習。勉強会なので輪番でテキストのポイントについて説明し合います。

期日：第4土曜に年間5回　（今年度は　11/25　1/27）　10時半～12時

場所：ハーモニーセンター（浦添市）

連絡先・問い合わせ：濱川尚子（松島中学校）

メール　hmyrk24325@gmail.com

スクールカウンセラー勉強会

担当：波平利美　稲葉律子　神保しげみ

内容：スクールカウンセラーとして活動している会員の学びあい。情報交換やグループスーパービジョンで互いにサポートしています。

期日：年3回程度（第1土曜日午前中）　2023年10/7・2024年2/3・6/1

場所：ハーモニーセンター（浦添市）

連絡先・問い合わせ：事務局

Q-Uスキルアップ学習会

担当：稲葉律子、神保しげみ、玉城弘美

内容：Q-Uを理解し、学級づくりに活用できるようになるための学び合い。

期日：年5回　今後の予定　2023年10/21・12/16・2024年2/17

場所：沖縄県総合福祉センター（石嶺）、ハーモニーセンター（浦添市）

連絡先・問い合わせ：事務局

リレーエッセイ　～自由な発信の場として～

53号のエッセイストは、またまた神保です。実はうっかり者の神保が、次のエッセイストへの依頼をついうっかり忘れてしまったのです。そこで責任感の強い神保が責任をとって今回も担当することとなった次第です。次回から、依頼忘れ防止のために担当エッセイストが次回のエッセイストを指名する方式にしようかなと考えていますが、ということは、次回エッセイストを神保が指名するってこと。おんなじやないか～い！忘れんとおこう。（なぜかエセ関西弁）

人ってそんなに変わらない

神保しげみ

土曜日の夜の「サンドイッチマン＆芦田愛菜の博士ちゃん」という番組で紹介された昭和家電の数々。自動缶切り機（自分でやった方が速くない？）や、ヘアードライヤー（カーラーを巻いた頭にシャワーキャップみたいなものを被り温風を送り込み乾かす）など。大きく膨らんだピンクのシャワーキャップを頭に被った愛菜ちゃんのかわいいけど奇妙な姿を見ながら「あー、これうちにあったよね」と盛り上がった。母の愛用品であった。昭和の時代にはへんてこな家電が売り出されていた。

そういえば確か高校生の頃だったと思う。雑誌に掲載されていた「睡眠学習枕」の広告に心をわしづかみにされた。人間は眠りについてすぐと、起き出す前にシータ波が出ており、この時間に脳に刺激を与えることで潜在意識に記憶させるとかどうとか。とにかく、「眠っている間になんでも覚えられる驚異の学習法！」という画期的な学習マシーンだということであった。眠っている間に英単語や歴史の年号や元素記号やあれやこれやが覚えられるなんて、すごい！ これは手に入れるしかないでしょと、ためていたお年玉をはたいて購入した。ほどなくして睡眠学習枕が届き、ワクワクしながら説明書を読むと

①覚えたい単語を書いて練習します。

②その単語をテープレコーダーに吹き込みます。

③タイマーをセットします。

みたいなことが書かれていた。私は①の「単語を書いて練習する」に衝撃を受けた。そんな手間暇をかけずに眠っているだけで覚えられるというから、あんたを迎え入れたんじゃなかったのかと。実際使ってみると、書いての練習も手間だし、スペルをいちいちテープに吹き込むのも手間。しかしながら高校生の分際ではたいた大枚（1万5千円くらい？）の手前、いやいやきっとこの枕にははかり知れないパワーがあるに違いないと思い込もうとした。1週間後、もしかしてこの枕は役立たずなのではとの疑念が芽生え、1ヵ月後その存在はなかったものとしてしまい込まれることになるのである。 大人になってひょんなことから、『ちびまる子ちゃん』の作者・さくらももこも、あのイケメンの福山雅治もこのくだらない睡眠学習枕の毒牙にかかったことを知った。仲間がいたことにホッとした。

はてさて、私は2ヶ月に1回、健康づくり財団の生活習慣病管理課外来に通っている。体重を記録したグラフを保健師がチェックし、「何か運動をしていますか」「休肝日は設けていますか」と問われ「やってません」と答えるのがお決まりである。運動も休肝日もダイエットには必須とは思うのだが、面倒な運動もしないで、大好きなビールも我慢しないで、それでもって痩せたいのである。楽してステキな成果を手に入れたいのである。

なんということだろう。楽して単語を覚えようとした高校生の頃とおんなじではないか。

人ってそんなに変わらないものである。

SGE1日入門コースのお知らせ

締め切（10/16）を延長しました。尚、定員になり次第締め切らせていただきます。

日　　時　：　2023年11月19日（日）
会　　場　：　男女共同参画ハーモニーセンター 研修室（浦添市）
リ　ー　ダ　ー：　照屋初美（SGE公認リーダー）
サブリーダー　：　神保しげみ（SGE公認リーダー）
スーパーバイザー：仲村　將義（SGE公認リーダー）

SGE公認リーダーとは、日本教育カウンセラー協会から認定を受けたリーダーのことです。
沖縄で認定を受けているのは、この3名です。

10数年来続けてきた「SGE宿泊体験（2泊3日）」がコロナ禍で開催できない状態が続きました。ふれあいと自他発見を目的とした集中的グループ体験としてのSGE（**ジェネリックSGE**）をやっと4年ぶりに「1日入門コース」という形で開催することになりました。学校においてスペシフィックSGEを活用する上でもジェネリックSGEの体験は役に立つと思います。是非、ご参加ください。

会費納入のお願い

今年度の会費　1年分　3.000円（2023年7月～2024年6月）納入は、銀行振り込みでお願いしております。皆さまから会費を頂戴することで、協会の運営が成り立っています。納入がまだの方は、年度内に納めていただけますよう宜しくお願い致します。納入済みの場合には、行き違いですのでご容赦下さい。
※申し訳ございませんが、お振込み料金のご負担をお願いいたします。
※昨年2022年度会費未納の方は、恐縮ですが、2年間分の会費のお振込みをお願いしたく存じます。
※納入状況の問い合わせは事務局（前花）まで。
※協会規定により、3年間会費未納の方は、自動的に退会となります。
　当協会よりの講座案内・ニュースレターの送付・会員価格での講座受講を終了となりますので、ご注意とご了承下さい。
※お手数ですが、退会をご希望の場合は、協会事務局へご連絡ください。
※代表が変わりましたので、名義も「下地敏洋」に変わっております。

＜振込先＞
沖縄銀行　末吉支店　普通
口座番号（145－1444374）
名義
（特定非営利活動法人）NPO法人沖縄教育カウンセラー協会　代表　下地　敏洋

【編集後記】

3歳の孫とアイスクリームタワーというおもちゃで遊びました。 積んでは崩れて、積んでは崩れてを何度か繰り返した後に、結構高くアイスを積み上げてご満悦の孫に、「すごいね～、どうやってこんなに高く重ねることができたの？」と尋ねました。
「これ、大きいでしょう」「これは小さい」と、どうやら、大きなものを下に、小さなものを上に重ねたとのこと。3歳ながら工夫しているんだなと思いました。
できたときには何かしら工夫しているものです。長田先生の講座でもお話しされていましたが、「どうやって（HOW）」の質問で、できていることの原因追及をしてみましょう。子ども達の口から、思いがけない工夫が飛び出してきますよ。意外な答えが返ってくることも多く、おもしろいです。
くれぐれもできないことの原因追及ではありませんよ（笑）。

神保

特定非営利活動法人 沖縄教育カウンセラー協会

JECAO

〒900-0004　沖縄県那覇市銘苅2-3-1　なは市民協働プラザ2階201

電話 098-851-5257　FAX　098-851-5258

メールアドレス　jim@jeca.okinawa（事務局）　jecaokinawa@gmail.com（研修申込み）

ホームページ　https://jeca.okinawa/　（新しくなっています）